

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月12日
【四半期会計期間】	第53期第3四半期（自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日）
【会社名】	株式会社ホギメディカル
【英訳名】	HOGY MEDICAL CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 保木 潤一
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂2丁目7番7号
【電話番号】	03(6229)1300(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 管理部部長 大橋 進
【最寄りの連絡場所】	東京都港区赤坂2丁目7番7号
【電話番号】	03(6229)1300(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 管理部部長 大橋 進
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第52期 第3四半期連結 累計期間	第53期 第3四半期連結 累計期間	第52期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	自平成25年4月1日 至平成25年12月31日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(百万円)	25,203	26,408	33,094
経常利益(百万円)	6,629	7,214	8,353
四半期(当期)純利益(百万円)	4,132	4,582	5,247
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	4,633	6,114	7,116
純資産額(百万円)	67,529	74,456	69,602
総資産額(百万円)	74,207	82,888	78,279
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	262.71	291.32	333.61
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	91.0	89.8	88.9
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	3,274	4,902	6,495
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	1,680	1,178	2,175
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	1,117	1,259	1,527
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	19,709	24,713	22,105

回次	第52期 第3四半期連結 会計期間	第53期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益(円)	102.54	113.12

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における当医療機器業界の環境は、国内経済が景気回復に向けて上向きの循環への動きがあるものの、社会保障費増加等による国の厳しい財政状態もあり、医療機関における効率的な医療費の活用をサポートすることが重要な状況となっております。このような中で各企業においては、より一層顧客ニーズに合わせた製品・サービスを提供することが求められております。

このような環境の下、当社グループでは、製品・物流・情報管理からなる「オペラマスター」の販売強化と、キット製品の販売拡大、新製品の開発及び販売に注力してまいりました。「オペラマスター」の販売では、学会・セミナー等の活動を通じて医療機関の関係者へ理解の促進を図り、24件の医療機関と契約を締結することができました。一方、解約は4件で、累計契約件数は197件となりました。また、「オペラマスター戦略」を更に発展すべくシステムの機能充実と拡張を行い、手術室運営の効率化と医療機関の経営改善に貢献する「手術管理システム」の営業活動強化に努めており、導入に前向きな医療機関が増加してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は26,408百万円（前年同期比4.8%増）となりました。手術用品類の医療用キット製品の売上高は、「オペラマスター」を中心としてキット全体の販売が増加し、13,640百万円（同9.5%増）となりました。

売上原価は、海外取引の際に円安の影響を受けましたが、生産量増加および生産体制の改善を行ったことにより原価率が改善いたしました。販売費及び一般管理費は、新製品関連の費用や「手術管理システム」の償却費もあり増加いたしました。これらの結果、連結営業利益は6,890百万円（同5.9%増）となりました。また、連結経常利益は7,214百万円（同8.8%増）、連結四半期純利益は4,582百万円（同10.9%増）となりました。

当社グループの事業は、医療用消耗品等の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより24,713百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,608百万円増加いたしました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を7,300百万円、減価償却費を2,110百万円計上し、売上高増加による売上債権の増加1,214百万円、たな卸資産の減少263百万円、仕入債務の減少393百万円、法人税等の支払2,691百万円がありました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは4,902百万円となり、前年同期に比べ1,628百万円増加いたしました。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入556百万円を計上した一方、有形固定資産の取得による支出990百万円、投資有価証券の取得による支出300百万円があり1,178百万円の支出となりました。なお、前年同期に比べ投資有価証券の売却等により投資活動によるキャッシュ・フローは501百万円支出が減少いたしました。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等がありました。この結果、1,259百万円の支出となり、前年同期に比べ141百万円支出が増加いたしました。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、386百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	65,000,000
計	65,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数 (株) (平成26年2月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	16,341,155	16,341,155	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数100株
計	16,341,155	16,341,155	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	16,341,155	-	7,123	-	8,336

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7)【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 611,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 15,694,600	156,946	-
単元未満株式	普通株式 34,655	-	-
発行済株式総数	16,341,155	-	-
総株主の議決権	-	156,946	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が300株(議決権の数3個)含まれております。

## 【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
株式会社ホギメディカル	港区赤坂 2丁目7番7号	611,900	-	611,900	3.74
計	-	611,900	-	611,900	3.74

(注) 上記のほか、株主名簿上は当社名義となっておりますが実質的に所有していない株式が100株(議決権の数1個)あります。なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の欄の普通株式に含めて記載しております。

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成していません。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,471	25,078
受取手形及び売掛金	10,470	11,745
商品及び製品	3,703	3,713
仕掛品	341	348
原材料及び貯蔵品	2,944	2,875
その他	1,111	1,149
貸倒引当金	5	10
流動資産合計	41,037	44,899
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,966	11,597
機械装置及び運搬具(純額)	5,768	4,983
土地	9,410	9,454
建設仮勘定	789	1,166
その他(純額)	495	537
有形固定資産合計	28,430	27,739
無形固定資産	1,605	1,701
投資その他の資産	<sup>1</sup> 7,206	<sup>1</sup> 8,547
固定資産合計	37,242	37,988
資産合計	78,279	82,888

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,391	4,080
未払法人税等	1,324	1,348
引当金	460	188
その他	1,134	996
流動負債合計	7,311	6,614
固定負債		
引当金	186	134
その他	1,179	1,681
固定負債合計	1,365	1,816
負債合計	8,676	8,431
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,123	7,123
資本剰余金	8,336	8,336
利益剰余金	56,472	59,796
自己株式	3,318	3,321
株主資本合計	68,613	71,934
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,422	2,154
繰延ヘッジ損益	463	774
為替換算調整勘定	902	413
その他の包括利益累計額合計	983	2,515
少数株主持分	5	6
純資産合計	69,602	74,456
負債純資産合計	78,279	82,888

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

( 単位：百万円 )

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	25,203	26,408
売上原価	12,317	12,855
売上総利益	12,885	13,553
販売費及び一般管理費	6,379	6,662
営業利益	6,505	6,890
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	45	60
為替差益	38	134
その他	37	128
営業外収益合計	124	327
営業外費用		
投資事業組合理用損	-	1
その他	0	2
営業外費用合計	0	3
経常利益	6,629	7,214
特別利益		
固定資産売却益	3	1
投資有価証券売却益	-	96
特別利益合計	3	97
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産廃棄損	2	10
特別損失合計	2	10
税金等調整前四半期純利益	6,630	7,300
法人税等	2,498	2,718
少数株主損益調整前四半期純利益	4,132	4,582
少数株主利益	0	0
四半期純利益	4,132	4,582

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,132	4,582
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	324	731
繰延ヘッジ損益	236	311
為替換算調整勘定	58	489
その他の包括利益合計	501	1,532
四半期包括利益	4,633	6,114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,633	6,114
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,630	7,300
減価償却費	2,151	2,110
貸倒引当金の増減額(は減少)	6	9
受取利息及び受取配当金	48	63
投資事業組合運用損益(は益)	-	1
為替差損益(は益)	51	133
有形固定資産売却損益(は益)	3	0
投資有価証券売却損益(は益)	-	96
売上債権の増減額(は増加)	741	1,214
たな卸資産の増減額(は増加)	779	263
仕入債務の増減額(は減少)	33	393
その他	623	234
小計	6,575	7,530
利息及び配当金の受取額	48	63
法人税等の支払額	3,349	2,691
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,274	4,902
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	1,049	990
有形固定資産の売却による収入	6	3
投資有価証券の取得による支出	-	300
投資有価証券の売却による収入	-	556
貸付けによる支出	9	0
貸付金の回収による収入	8	9
その他	636	457
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,680	1,178
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	0	2
配当金の支払額	1,117	1,257
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,117	1,259
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	143
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	469	2,608
現金及び現金同等物の期首残高	19,239	22,105
現金及び現金同等物の四半期末残高	<sup>1</sup> 19,709	<sup>1</sup> 24,713

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
投資その他の資産	22百万円	7百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
現金及び預金勘定	20,076百万円	25,078百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	367	364
現金及び現金同等物	19,709	24,713

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年4月11日 取締役会	普通株式	361	23	平成24年3月31日	平成24年5月31日	利益剰余金
平成24年7月11日 取締役会	普通株式	377	24	平成24年6月30日	平成24年8月31日	利益剰余金
平成24年10月11日 取締役会	普通株式	377	24	平成24年9月30日	平成24年11月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年1月17日 取締役会	普通株式	408	26	平成24年12月31日	平成25年2月28日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1. 配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （百万円）	1株当たり 配当額 （円）	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年4月10日 取締役会	普通株式	408	26	平成25年3月31日	平成25年5月31日	利益剰余金
平成25年7月10日 取締役会	普通株式	424	27	平成25年6月30日	平成25年8月30日	利益剰余金
平成25年10月10日 取締役会	普通株式	424	27	平成25年9月30日	平成25年11月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （百万円）	1株当たり 配当額 （円）	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年1月16日 取締役会	普通株式	424	27	平成25年12月31日	平成26年2月28日	利益剰余金

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

当社グループの事業は、医療用消耗品等の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）
1株当たり四半期純利益	262円71銭	291円32銭
（算定上の基礎）		
四半期純利益（百万円）	4,132	4,582
普通株主に帰属しない金額（百万円）	-	-
普通株式に係る四半期純利益（百万円）	4,132	4,582
普通株式の期中平均株式数（株）	15,729,778	15,729,351

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

## 2【その他】

( 剰余金の配当 )

平成25年10月10日及び平成26年1月16日開催の取締役会において、剰余金の配当を行うことを決議しております。

平成25年10月10日開催	取締役会決議
・ 配当金の総額	424百万円
・ 1株当たり配当額	27円
・ 基準日	平成25年9月30日
・ 効力発生日	平成25年11月29日
平成26年1月16日開催	取締役会決議
・ 配当金の総額	424百万円
・ 1株当たり配当額	27円
・ 基準日	平成25年12月31日
・ 効力発生日	平成26年2月28日

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月12日

株式会社ホギメディカル

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 網本 重之 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 向井 誠 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ホギメディカルの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ホギメディカル及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。